

令和 3 年 5 月 21 日

報道関係 各位

名古屋市立大学 医学・病院管理部 教育研究課
課長 井上 誠 電話：052-853-8077

名古屋市立大学と豊川市民病院が 臨床研究の実施に関する連携協定を締結します

名古屋市立大学と豊川市民病院は、双方において研究活動の更なる活性化を目指すため、「特定臨床研究の実施に関する相互の協力・支援」に関する協定を締結することとし、締結式を開催しますので、是非ご取材いただきますよう、よろしくお願いいたします。

【締結の目的】

本協定によって、名古屋市立大学病院、医学部附属東部・西部医療センター、蒲郡市民病院、三重北医療センターいなべ総合病院による名市大を中心とした臨床研究ネットワークに新たに豊川市民病院も加わる形で、より大規模な研究推進グループ体制を構築し、グループ全体での臨床研究の活性化を目指します。

また、臨床研究ネットワークにおいては、大学を中心とした支援体制を構築することで、医療ビッグデータを活用した研究シーズの発掘や研究ノウハウの共有、人材育成等を通して、グループ全体での新たな医療の創出や地域医療への還元、世界へ向けた優れた研究成果の発信を目指します。

【協定内容及び協定書締結式の概要】

1 連携協定の内容

- (1) 臨床研究の立案・研究計画書の作成支援
- (2) 臨床研究のデータマネジメント
- (3) 臨床研究のモニタリング・監査
- (4) その他研究活動の活性化に必要な連携に関すること

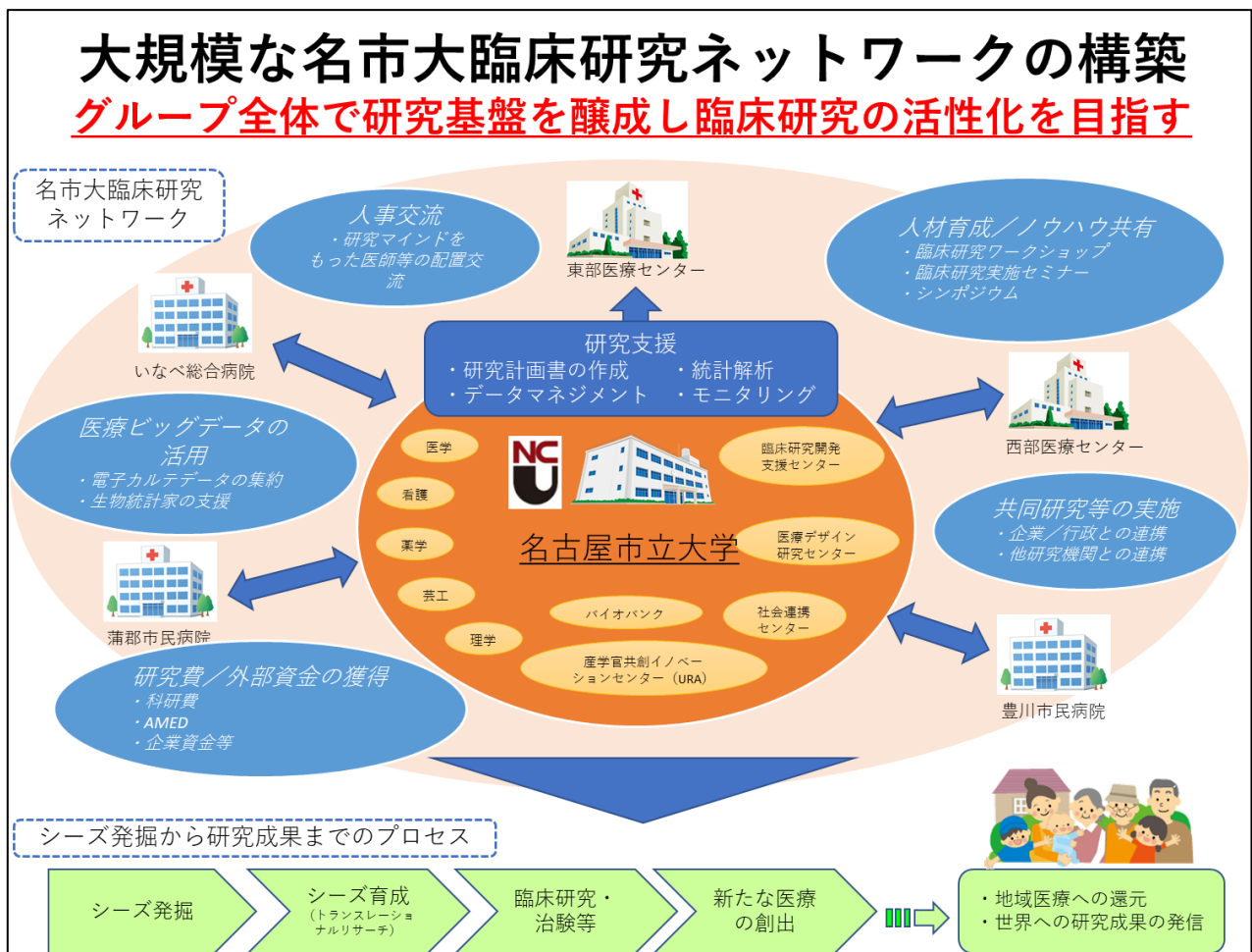
2 協定書締結式

- (1) 日 時 令和 3 年 5 月 27 日 (木) 16 時 15 分～ (予定)
- (2) 場 所 名古屋市立大学病院 病棟・中央診療棟 4 階 第 2 会議室
- (3) 形 式 オンラインで双方間を中継する Web 形式にて実施
- (3) 出席者 豊川市民病院事業管理者 三島 晃 はじめ豊川市民病院関係者
名古屋市立大学理事長 郡 健二郎 はじめ大学関係者

3 その他

取材をご希望の際は、事前に広報担当(長谷川・脇山 電話 052-858-7114)までご連絡をお願いします。

【名市大を中心とする臨床研究ネットワークのイメージ】



【名古屋市立大学および関連病院との多施設共同研究の例】

令和2年7月21日プレスリリース

名古屋市立大学大学院医学研究科 神経内科学分野

松川 則之 教授、打田 佑人 研究員らの研究チームによる研究成果の発表

「血液脳関門の機能障害を画像化することに成功」

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/media/20200721.pdf>

本研究は、名古屋市立大学大学院医学研究科 神経内科学分野と豊川市民病院 神経内科をはじめとする多施設共同研究として行われ、研究成果は、米国科学誌「Neurology (ニューロロジー)」に2020年6月25日掲載